

児童・生徒の現状・課題

全体として、落ちついた学習環境で授業をすすめることができる。また、教科書や教科書に準じた問題にはしっかり取り組むことができる。一方、問題文や文章題を読んで題意を掴んだり、説明や意見を文章や言葉に出したり、日常生活の場面で応用したりすることに課題がある。

具体的な手だて①

・教員と児童が文章や文章題を一緒に確認する。児童が内容や題意を掴み、伝えたいことや答えることを理解できるように導く。また、文章や言葉、図や表で表す場面をより多く確保する。

学び続ける力を育むための重点目標

- 読解力をつけ、自分の考えを文章や言葉、図や表で表し、
- 試行錯誤や他者と交流を図りながら学び、
- 日常生活の中で学習したことを活かす

具体的な手だて②

・複数の考え方や取り組み方を準備しておき、児童が選択をしたり、別の方法を試したりできるようにする。また、児童が粘り強く取り組んだり、他者と交流したりできるように、意識して時間を十分に確保する。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標 (5月)	結果 (1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	78.3	83.0	
②問題や課題に取り組んでも、上手くいかない時には、上手くいくように、違うやり方を試したり、調べたりして、粘り強く取り組んでいる。	78.7	83.0	

具体的な手だて③

・学習内容と生活とのつながりがもてるようにする。そのために、児童が関連付けられるように、教員は気付きや言葉がけを通して支援する。また、児童が生活の中で発見したり、取り組んだりしたことを発表する場面を用意する。

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標 (5月)	結果 (1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	78.3	85.0	
②問題や課題に取り組んでも上手くいかない時には、どうすればよいか、児童・生徒が自ら方法を選択し行動できるよう、解決の方法を示している。	95.7	98.0	

校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・毎週の学年会で、授業の内容を確認し合うことで、日々の授業改革を行う。
- ・毎月の主任会と若手教員の交流会を通して、学年間の授業内容を確認し、校内全体で様子を共有し、授業改革を進める。

総括(7月)

・全国学力調査の結果から、短答式の解答はできるが、文章や図・表を読み取ったり、記述で解答したりすることが苦手であることや、解答に時間がかかる問題には無回答が多くなるのが分かった。このことから、読解力や読図力、自信をもって解答しようとする力が必要だと捉えた。そこで、対話的な活動を通して学びを深めたり、自分の選択に自信をもち、最後までやり抜く力をつけたりすることを育成することを目指す。そのために、3つの具体的な手立てに取り組んだり、校内での活発な教員間の交流を授業改革の芯に据えた。

総括(1月)